

# 令和8年度 現職教育年間計画

犬山市立栗栖小学校

## 1 本校の研究歴

令和5年度	かかわり合い、自分らしく表出できる児童の育成をめざして -「本物になる」くりすっ子を目指して-
令和6年度	かかわり合い、自分らしく表出できる児童の育成をめざして -創造し、繋げることで笑顔となるくりすっ子を目指して-
令和7年度	主体的に考え、判断し、行動するくりすっ子の育成 -つながる・創造する・笑顔になる授業づくりを通して-

## 2 令和8年度の取組について

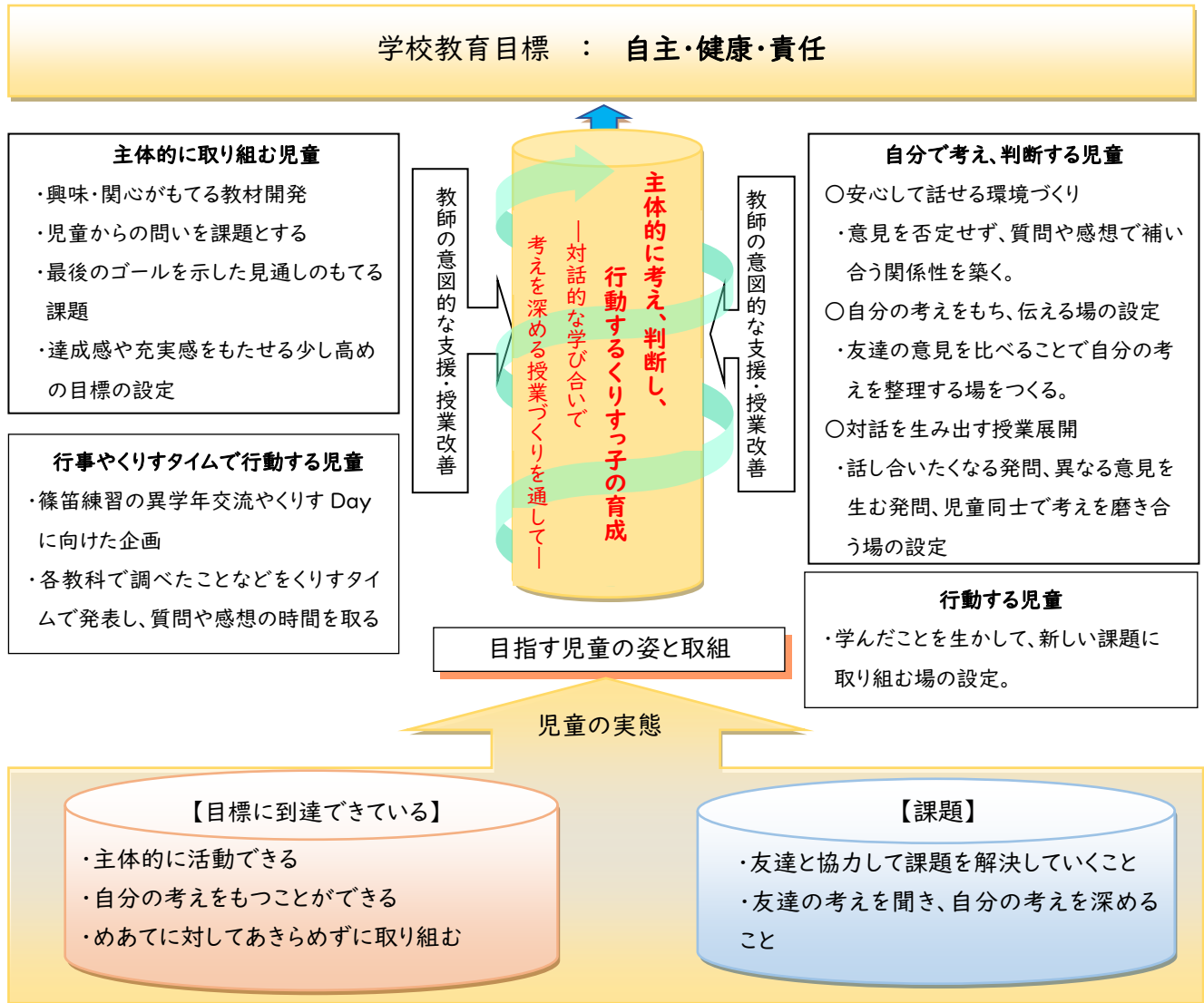
主体的に考え、判断し、行動するくりすっ子の育成  -対話的な学び合いで考えを深める授業づくりを通して-
-----------------------------------------------------------

### (1) 研究主題・目指す児童像の示す意味

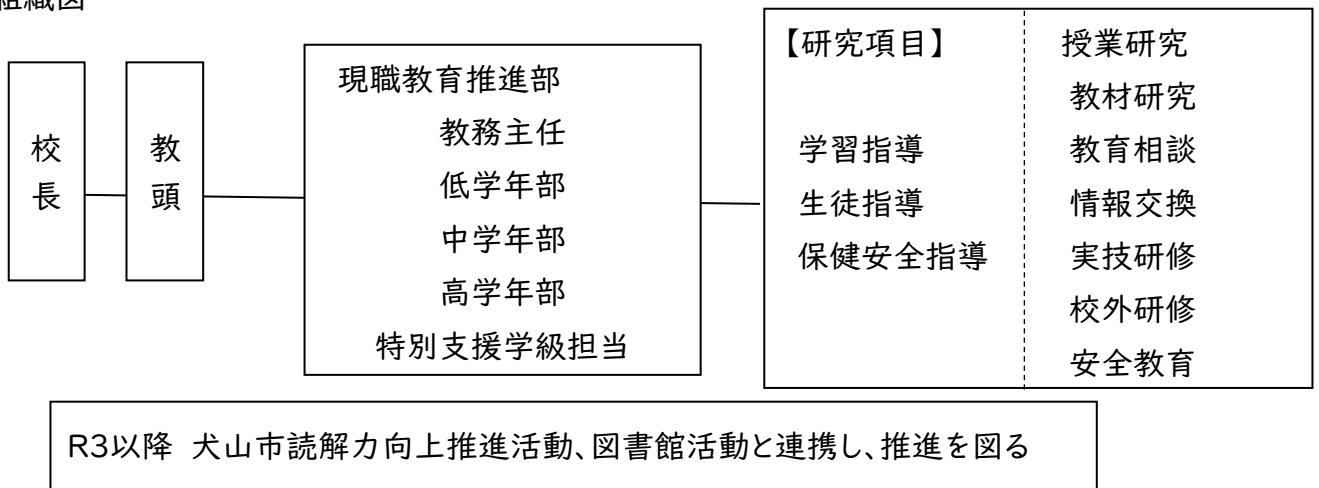
令和7年度は、情報があふれる現代社会において、情報を取捨選択し、自分で考えて判断し、行動する力が必要であると考え主題を設定し、授業研究を進めた。昨年度の現職教育のふりかえりから、少人数の良さを生かして、主体的に学習に取り組める一方、友達の意見を聞き、自分の考えを深めることが難しい児童が多いことが課題としてあげられた。児童(3年生以上)を対象に行った学習アンケートでは、「授業中、自分の考えをもつことができるか」という質問に対し、「できている」「まあまあできている」と100%の児童が答えている。しかし、「友達とかかわることで、『こんないい考え方があったんだ』『友達のやり方もやってみよう』と感ずることはあるか」という質問に対しては、38%の児童が「あまりない」と答えている。この結果から、自分の考えをもつことはできるが、児童同士の関わり合いから自分の考えを変容していくことが課題であると考えられる。

そこで本年度は、対話的な学び合いで考えを深める授業づくりを通して、主体的に考え、判断し、行動する児童を育てていくことを重点に、研究を進めていく。友達一人一人がもっている良さに目を向け、温かな人間関係を作るために、栗栖小学校の小規模を活かした実践を進めていきたいと考える。

### 3 研究の全体構想



### 4 組織図



## 5 本年度の活動

### (1) 研究の内容

- ① 栗栖カリキュラム(複式)を主とした授業改善
  - ・年間指導計画から、単元ごとのつながりを考える。
  - ・少人数の良さを生かし、教え合い、学び合いの環境をつくる。
- ② 授業研究
  - ・1人1回授業実践を行う。現職教育で指導案を検討し、授業後に簡単な協議会(15分程度)を行う。
  - ・学校訪問(6/1)の授業で指導案を作成し、現職教育の主題に沿った授業を行う。
- ③ くりすタイムを利用して、自分の考えを広げる力を定着させるための事前事後の指導
  - ・教科の調べ学習や夏休みの自由研究の発表を行う。
- ④ 特別支援教育
  - ・スクールカウンセラーの原先生を講師に招き、発達障害児の特性や支援についての理解を深める。

### (2) 研究主題に対する評価方法

- ① 協議会の内容をとりまとめる。
- ② 5月と2月に3~5年生を対象に「学習についてのアンケート」を実施する。その結果を基に、現職教育全体の「成果や課題」を検証する。

### (3) 犬山市読解力向上の取り組みについて

犬山市が目指す子ども像は「自ら学ぶ力を身に付けた感性豊かな子ども」である。犬山市の考える読解力とは、「言葉の意味と働きを正しく理解し、適切に使い、問題解決に活かす力」と考えている。

栗栖小学校の研究主題の「対話的な」学び合いを目指すため、言葉を正しく理解し、使いこなせるようになれば、コミュニケーションが円滑になり思考が深まると考える。そこで、栗栖小学校が目指す読解力を「学習した言葉を活用し、自分の言葉で説明できる力」としたい。また、わんどく君アプリを活用して、言葉を大切にしたい実践を進めていきたい。

わんどく君アプリについて ※別紙参照

(犬山市読解力)わんどく君アプリ→リンク集「犬山の学び」→読解力向上プログラム

## 6 現職教育の年間計画

学期	月	現職教育のテーマに関わる研修	その他の研修
前	4	<b>①</b> 現職教育(4/7) (1) 令和8年度原書教育の計画提案、指導案形式確認 (2) カリキュラムマネジメント(各教科、行事の横断的な指導計画) ・現職教育担当による公開授業・協議会(4/16) ・学校訪問の指導案作成	・情報モラル研修 ・生成AI利用研修
	5	<b>②</b> 現職教育(5/25) (原先生による発達障害に関する講義)	
	6	・学校訪問(6/1)	<b>③</b> 現職教育(6/15) (救命救急法とエピペン講習会)
期	7		
	8		
	9	<b>④</b> 現職教育(9/24) (一人一授業指導案検討) ・一人一授業・協議会(随時)	
	10	<b>⑤</b> 現職教育(10/17) (要請訪問 研究授業指導案検討②)	<b>⑤</b> 現職教育(10/17) (前期ふり返り)
	11	<b>⑦</b> 現職教育(11/ ) (要請訪問授業・協議会)	<b>⑥</b> 現職教育(11/2) (市民展参観)
後	12	<b>⑧</b> 現職教育(12/7) (一人一授業指導案検討③) ・一人一授業・協議会(随時)	
	1	<b>⑨</b> 現職教育(1/18) (カリキュラムマネジメント)	
	2	<b>⑩</b> 現職教育(2/8) (研究内容の成果と課題、目指したい子どもの姿についての協議会)	
	3	・年度末の反省と次年度の計画	

・要請訪問以外の研究授業協議会は、下校後に職員室で15分程度行う。

・研究授業は要請訪問を受けない教員で行う。指導案検討は2つの授業ずつ行う。